

新宿区

夏目漱石記念施設整備基金

平成29年9月24日に新宿区立漱石山房記念館が開館しました。平成25年、記念館の建設のため創設した新宿区夏目漱石記念施設整備基金は、開館後も資料の収集や修復等に役立てるため、引き続きご寄附を募っています。令和5年度は下記のとおりご厚志を賜りました。ご支援いただいた皆さまに心より御礼申し上げます。



令和5年度寄附実績

4,228,100 円
(186 件)

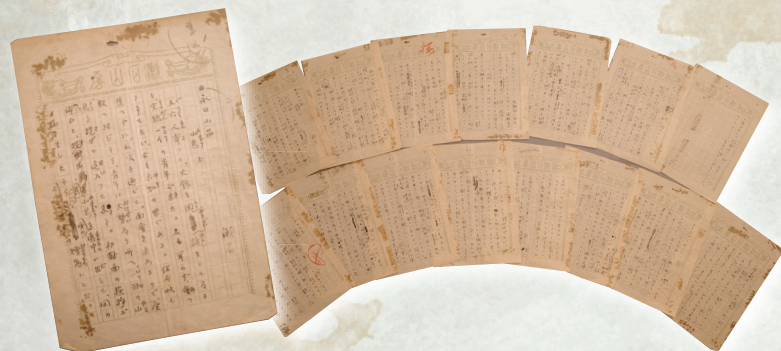
累計 162,931,351 円
(3,216 件)

※平成25年7月1日～令和6年3月31日

寄附の活用

令和5年度に基金を活用して購入させていただいた資料の一部をご紹介します。

夏目漱石「山鳥」(『永日小品』)原稿 15枚



漱石山房原稿用紙にペン書きされた「山鳥(上)」7枚、「山鳥(下)」8枚の自筆原稿・計15枚。

「山鳥」は、25編の小品から成る『永日小品』の第12編で、一羽の山鳥を手に突然来訪した未知の青年の話を描いたもの。明治42年(1909年)1月14日から3月9日に東京朝日新聞・大阪朝日新聞に断続連載された作品の小品集『永日小品』は、明治43年(1910年)5月に「文鳥」「夢十夜」「満韓とところどころ」とともに『四篇』として発行された際に『永日小品』の題でまとめられた。

夏目漱石水彩画

《収穫図》



女性が収穫した果実らしきものを広げている様子を描いた漱石自筆の水彩画。はがきの紙に描かれたものが台紙に貼付され額装されている。

台紙には「収穫図」とあり、友人で画家の津田青楓による題字・署名と落款がある。

問合せ

新宿区文化観光産業部
文化観光課文化資源係

〒160-8484

東京都新宿区歌舞伎町1-5-1 第1分庁舎6階

☎ 03-5273-4126 FAX 03-3209-1500